

委託事業実施内容報告書

平成21年度地域日本語教育支援事業【日本語教室設置運営】

受託団体名 NPO 法人浜岡日本語講師の会

1 事業の趣旨・目的

日本社会で生きてゆくために日本語の習得を、入門、職場での日本語、高校受験などの各分野別に習得し、また、日常生活上のルールなども習得する

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
H21.8.8	石川由樹、澤瀬益男 宮本勝海、村松和子 鴨川富美子 石川尚子	・派遣会社から当市と周辺 市の状況 ・市内各小中学校の状況	・当市はよその市と比較 して外国人の日本語習 得にかかる支援に理解 がない、従って派遣会 社に対する理解度も低 い ・当県は学齢編入のため 小学校高学年から編 入する子供は授業につ いてゆけない(婚姻日系 ブラジル人の子供は家 庭でも日本語を使わず 日本の学校では日系ブ ラジル人の学習指導員 がポルトガル語で教える ためなかなか日本語を 覚えられない日本の外国 語教育と同じで話せない、 話そうとしない) ・日本人と結婚したフィリ ピン女性は教育熱心で 家庭教師の依頼がくる し、高校に外国人枠でな い一般枠で合格したフィ

			リピン女子生徒もいる。本人と家庭の教育に対する考え熱意が大きく影響している。
H22.1.27	佐藤直紀、石川由樹、鴨川富美子、石川尚子	静岡県内及び菊川署管内外国人関与事件発生状況警察から望む活動	・110 番のかけ方答え方（日本語で）を教えてほしい ・幸い凶悪事件は起きていない ・協水難事故防止キャンペーンのように今後も協働を続けたい
H22.3.17	宮本勝海、鴨川富美子、石川尚子、西郷多恵子	・税務課よりの要望 ・今後生徒を増やすためには？	・西遠地区では自賠責に加入しない外国人が多く、こういう車と事故を起こしたら大変であるが、なかなか加入が進まない、未加入のまま名義変更する外国人が多い ・御前崎市民税不払いの 60%が外国人である ・今後、介護の講座も作る必要が出てくると思う

【写真】、(会議風景の写真を1～2枚参考に添付して下さい。)

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 日本社会で生きてゆくための日本語教室
- ② 開催場所 静岡県原子力広報研修センター
- ③ 学習目標 3 級以上試験合格、日常生活と職場の日本語に慣れる、ルールを習得する、県警民間通訳翻訳人募集に合格する
- ④ 使用した教材・リソース
 - みんなの日本語、Speak Japanese、2・3 級試験用問題集(文法、語彙、読解)、運転免許試験問題(英語)、公団体のお知らせ文書(翻訳通訳のコツ)、講師自主作成教材、上級読解 など
- ⑤ 受講者の募集方法

市民課窓口に5ヶ国語の教室案内を設置、講師生徒のロコミ、提携している派遣会社
社に依頼

受講者の総数 46 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑥ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 40 回)

⑦ 日本語教室の具体的内容 * (添付いたしました)

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
①	○月○日 0:00~0:00	○時間	○人	○○国・○○語 (○人) △△国・△△語 (△人)	教授者○人 補助者○人	○○○○学習 ○○教材使用
②						
③						
④						
⑤						
⑥						

⑧ 特徴的な授業風景(2~3回分)

- ・派遣会社から失職したブラジル人が教室に送られてきた。日系ブラジル人で現地でも日本語を教えており、日本の派遣会社で通訳翻訳をしていた女性 2 名が講師として、初級日本語、また職場での日本語及び態度についても教えた。
- ・運転免許取得を目指す中国人女性、フィリピン人男性が勉強した。田舎では日常生活に車の運転は必須である。
- ・通訳翻訳のコツを実際のチラシを使うなどして実習し、県警通訳として登録した。

⑩ 支援者の名簿

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
岡田エリザ美佐子	NPO 法人浜岡日本語講師の会	日系ブラジル人、日本語検定 3 級合格、掛川市職員	5	ブラジル人対象講師
宮本勝海	同上	元小学校国語教諭	43	運転免許試験クラス講師、入門クラス講師
沖村クラリセ美佐子	同上	日系ブラジル人、派遣会社勤務、現地で日本語教師	22	仕事の日本語クラス講師
伊藤恵津子	同上	小学校教諭	18	仕事の日本語・クラス講師
埴淵あきよし	同上	当会日本語講師	32	研修生クラス講

				師
西郷多恵子	同上	同上	8	研修生クラス講師
村松和子	同上	同上	38	3 級レベル日本語クラス講師
真野麗子	同上	同上	2	同上
石川尚子	同上	同上	36	中学生・高校受験生クラス講師
柳沢孝司	同上	同上	4	同上
鴨川富美子	同上	同上	32	運転免許、通訳翻訳、1 級受験クラス講師

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

1 級試験合格 1 名、2 級 2 名、3 級 3 名、県警通訳登録 2 名

② 学習者の習得状況

一昨年 3 級合格した実習生が昨年 12 月 2 級に合格した。もう 1 名は 2 級取得してブラジルに帰国。研修生は一昨年より教室で学び、3 名が 3 級合格。通訳登録は教室 2 年目のベトナム人生徒 1 名、教室再来生の中国人生徒 1 名(1 級合格)。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

- ・派遣会社と提携できたことにより、派遣労働の外国人とくにブラジル人を取り込むことができた。
- ・県が推奨している多文化共生社会で当面必要な仕事の一つである通訳に興味を持ち、やりたいという生徒が出、県警の通訳に登録できた。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・派遣会社と提携したことにより、日本語が理解できず学習に熱心でもなく失職したブラジル人生徒が増え、とにかく入門だけは教えることができた。
- ・防災の面で警察署と協力し、今後の協力関係もできた。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

市民課に 5 ヶ国語で広告を出しているにも関わらず生徒数が少ないのは例年通り。

b. 今後の課題

生徒数を増やすこと＝社会統合に必須の日本語及びルールを普及させること。

c. 今後の活動予定、展望

- ・日本語学習者を増やすことが必須なので、友人を誘ってなど大勢勉強し、日本語を社会の共通語とする状況にしたい。
- ・すでに中級上級者(就職者)にはさらに専門的なレベルを目指してもらおう。
- ・介護士を目指す女性が学習に来たが、幸い介護士の資格・経験ある講師が参加してくれたので今後介護の講座を作りたい。

⑥ その他参考資料

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。



